

(別紙1)

尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業 教育・研究活動事業実績報告書

教育・研究活動名	地球・地域とつながる共生ライブ(尼北創立100周年編)		
申請大学・高校等名	大学及び 高校等名	兵庫県立尼崎北高等学校	
	活動 グループ名	芸術鑑賞部	参加学生 等人数 103名
指導責任者名 及び連絡先	学部・学科等 名称		
	責任者氏名	吉田英一	連絡先 電話番号
	E-mail		
協働する市民活動団 体及び代表者名	団体名	うさぎ屋、あまがさき環境オープンカレッジ	
	代表者氏名	伴あい子、大原一憲	連絡先 電話番号
	E-mail		
教育・研究活動 目標	<p>本校は「地球・地域とつながる尼北」をスローガンとし、芸術鑑賞部も地域密着型の軽音楽活動やボランティア活動に力を入れている。</p> <p>今年度は、これまでの経験をもとに、長引くコロナ渦の中でもつながってゆく方法で、演奏、軽音・工作教室、動画配信、工作材料提供などを展開したいと思います。</p> <p>こども食堂との連携は、あきらめずに計画し、うさぎ屋の活動が再開次第、軽音教室や工作教室を企画し、楽器などを通じた交流会をシリーズ化します。</p> <p>あまがさき環境オープンカレッジとは、エコあまフェスタテーマソングを担当し、環境啓発の一助となる活動を行います。他にも高齢者や幼児とのつながりを模索します。</p>		
活動内容及び 実績、評価	<p>1. 活動内容及び実績</p> <p>(1) 地域演奏</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① エコあまフェスタ…中止。</li><li>② 市民まつり…中止。</li><li>③ 立花支所イベント…中止。</li><li>④ 立花南生涯教育センターオープニングセレモニー バンド演奏とアコースティックライブを担当することになり、現在練習中。</li></ul> <p>(2) エコあまフェスタオンライン…演奏動画出演。</p> <p>(3) 演奏動画…高齢者・幼児向け動画を YouTube アップ。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 昭和の曲に挑戦。</li><li>② アニメソングに挑戦。</li><li>③ 支え合いを育む人づくりテーマソング…試作段階です。</li></ul> <p>(4) 大人軽音教室、こども軽音教室、こども食堂など全て計画できずに中止。</p> <p>(5) 工作教室…段上公民館(参加幼児 30名)。他は中止。 参加児童30名。参加部員10名。紙飛行機と分光器の作り方を説明していっしょに作って遊びました。</p> <p>(6) 工作材料提供…猪名川町立楊津小。 全校児童数60名で材料の数を揃えやすいことから協力をお願いしました。</p> <p>(7) 地域清掃…塚口西住宅。4回。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 4月…15名参加。環境類型と合同。</li><li>② 11月…30名参加。</li><li>③ 12月28日…歳末大掃除。30名参加。</li><li>④ 3月…25名参加。</li></ul> <p>(8) 取材</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① ベイコムTVが、工作教室の取り組みを取材して下さりました。約20名参加。</li></ul>		

- ② FMあまがさきへの出演は、原稿も完成していたのですが、中止になりました。  
年度をまたいで、4月に実施していただけるかもしれません。

## 2. 評価

### (1) 学生

今の高校生は比較的豊かな時代に育っている、「やりたいことしかしたくない」という気持ちが強いのですが、やってみると意外に楽しかったり、やりたいことではないことをすることで新たな自分を発見できることに気づけたと思います。

コロナの中で唯一開催できた工作教室では、最初はこどもがかわいいということだけだったのですが、どうすればうまく教えられるかを考えて工夫するようになり、また、こどもが示す好奇心や瞳の輝きに対して、それに応える使命感を持つようになりました。また、こどもの保護者の方々が温かく見守って下さっていることも感じ取り、世代間のつながりの大切さを学んだと思います。

地域清掃は、コロナのために住民の方と同時に行うことはできなかったのですが、最初は、ふだん騒音で迷惑をかけているからと始めたのですが、すぐに、自分たちの街が綺麗になることに喜びを感じ、ゴミの種類と原因の分析をしたりしていました。

コロナが収束し、自分たちが考えていた地域交流を後輩達が実現してくれることを望んでいます。

### (2) 市民活動団体の活動者

環境オープンカレッジの皆さんには単年度にとどまらず、長きにわたってよくしていただいています。高校生であるが上、至らないところだらけなのですが、「若い人が参加してくれるだけで意義がある」と、深い懐で受け入れて下さり、芸術鑑賞部との関わりから、本校環境類型の授業を受け持っていただくなど、深いつながりに発展しつつあります。部員達も、それに応えようと、コロナでイベントが中止になっても、エコあまフェスタのテーマソングをオンラインで発表するなど、感謝を形にし、非常に良い共生関係を築かせていただきました。

こども食堂のうさぎ屋さんについては、一昨年たいへんお世話になったのですが、昨年度からコロナで閉鎖されていたことから、今年度も計画は全て中止となりました。

### (3) 指導教員の視点

#### ① 想定していた活動成果に対する達成度合い

コロナのため、地域での演奏活動は全て中止、工作教室は1件のみ実施ということで、ほとんど達成できませんでした。

しかし、できないことを嘆くより、できること、すべきことをやろうということで、地域清掃は住民の方と交わらない形で実施、工作教室ができないなら工作の部品を作って提供する、演奏ができないなら演奏動画を録るということに取り組みました。

#### ② 学生等が関わった地域、団体の活動の変化等

地域清掃の塚口西住宅の住民の方々とは、単年度での影響ではなく、長年の取り組みで、本校を温かく見守って下さっていると思います。

環境オープンカレッジの方々も、長年の付き合いで、部員達も何にでも取り組み、先方も企画を何でも我々に持って来て下さるようになりました。これは、立花支所を介した立花地区のイベントについても同じことがいえます。

#### ③ 学生等の学習意欲、地域に対する考え方の変化等

とにかく何でもやってみるということが、新しい自分の発見や成長につながりました。幼児からお年寄りまで、いろいろな人と関わる中で、自分たちの世代が世の中でどのように役立つことができるのか、これから大人になってどんなことができるのか、様々な世代が社会の中でどのように支え合っているのかを考えられるようになりました。

こどもと関わるときはこどもの気持ちになり、昭和曲を演奏するときには親や祖父母の気持ちになり、学校から地域を見ていたのが地域の中での学校の存在を考えるようになったり、視点を変えることで、視野が広がったと思います。

音楽などを通じて地域とつながり、「共生」を実感することができました。

※ 報告書の内容及び掲載写真は、市報、HP等の市の発行する媒体への掲載される場合がありますので、事前に学生等の同意を得た上で、提出をお願いします。